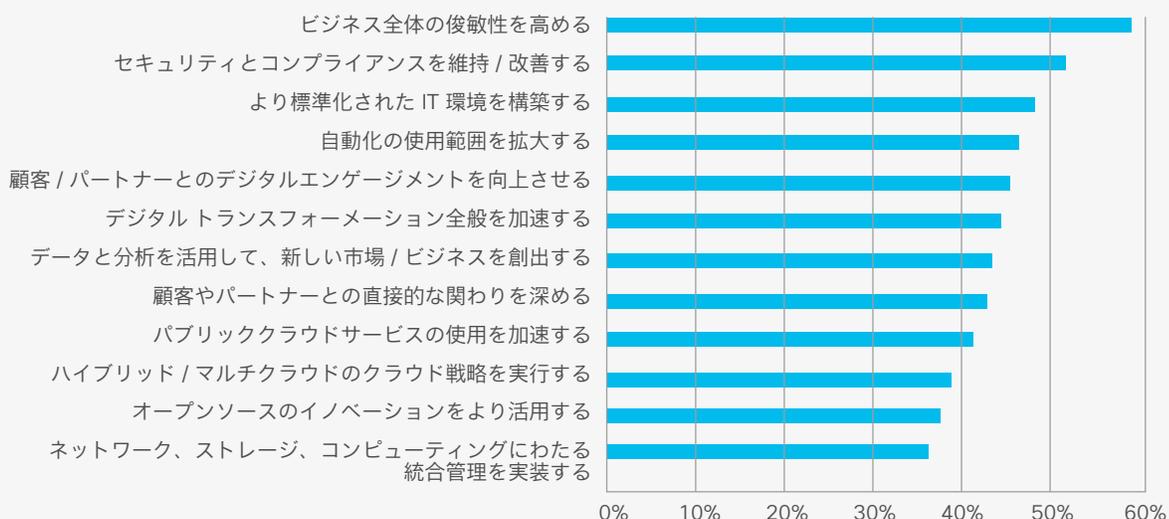




チームの可能性を拡大

IT インフラストラクチャに対する要求の増加



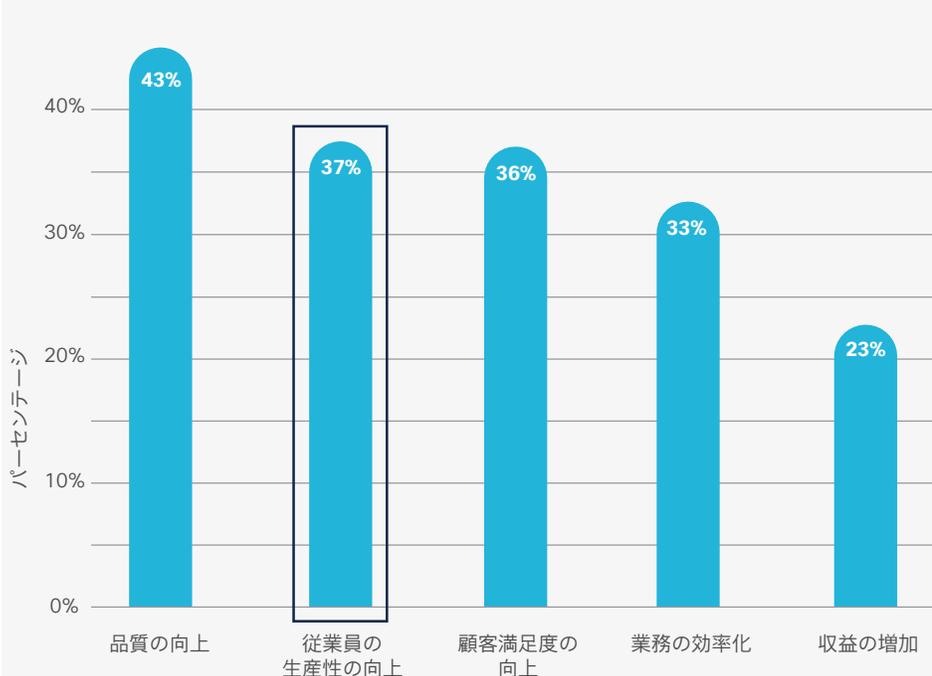
出典：エンタープライズクラウドおよび DevOps 管理に関する調査、IDC、2016 年 7 月。
[回答者の割合：N = IT および DevOps の責任者 200 人]

IT インフラストラクチャの複雑化が進み、対応するエンドユーザデバイスや Internet of Things (IoT) 接続の数と種類は増える一方です。現在のアプリケーションは、よりインタラクティブで帯域幅の消費が大きくなり、リアルタイムの分析と問題解決に使用されるデータが大量に生成されます。このようにデジタルトランスフォーメーションが進行する現代においては、絶えず進化するセキュリティを備えた、より分散されたインテリジェントなエッジネットワークの機能が欠かせません。ビジネスの俊敏性はあらゆる規模の企業にとっての最優先事項であり、その実現には、最適なツールで世界中の従業員の力を引き出すことが欠かせません。また、IT の複雑さ、顧客の新たな期待と要求を管理するため、自動化、コラボレーション、モビリティも不可欠です。

ネットワーク自動化戦略を実施する主な目的

ネットワークチームの主な目的は、アプリケーションとサービスのパフォーマンス、そしてビジネスの保護を継続して実現することです。ネットワークの自動化とは、物理および仮想ネットワークの構成、管理、テスト、展開、運用を自動化するプロセスを指します。Capgemini の調査（自動化イニシアチブを推進する目的の上位 2 つをランク付け）によると、自動化イニシアチブを実施している組織の 40% 近くが従業員の生産性向上を目的としています。

グローバル IT リーダーのネットワーク自動化実装の主な目的



出典：自動化のユースケースに関する調査、Capgemini Research Institute、2018 年 7 月。
[N = 自動化イニシアチブを試行中または実施中の組織 705 社]



推奨されるアクション

Gartner によると、データセンターのネットワークタスクの約 70% は手動で行われるため、時間、コスト、エラーの可能性が増加し、柔軟性が低下します。自動化によりネットワークの可用性が向上し、時間のかかる反復作業から解放されるため、より付加価値の高いアクティビティに注力できます。

ユニファイド コミュニケーションおよび コラボレーション (UCC) ソリューション によるワークフローの改善

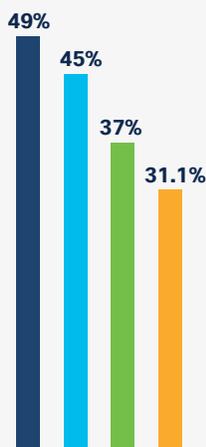
UCC は、ビジネスコミュニケーションやコラボレーションに幅広く採用され、多くの組織にとって生産性向上ツールの主流となっています。IDC が実施した調査によると、UCC を使用している企業は今や 50% 近くに達し、「UCC を使用する計画はない」という回答の割合は減少しました。企業の 75% 近くが UCC を使用しているか、1 年以内に使用する予定です。



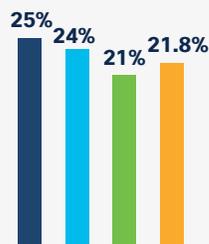
推奨される アクション

ビデオの使用、仮想現実、拡張現実のビジネスアプリケーションを増やすことで、チームのコラボレーション、トレーニング、生産性を向上させることができます。UCC ソリューションは、ビジネスプロセスや顧客とのやり取りにおいて発生する問題を、より迅速かつ革新的な解決に導きます。

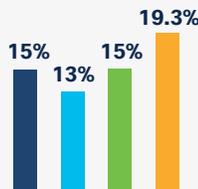
UCC の導入



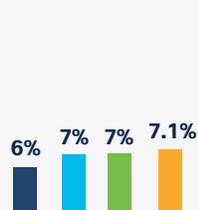
現在使用している



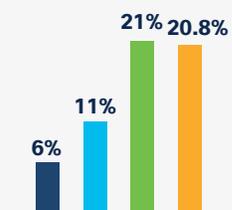
検討中：1年以内に使用する予定



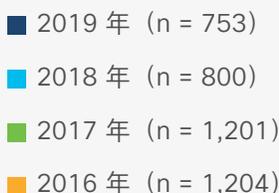
検討中：1～2年以内に使用する予定



2年以上後に使用する予定



使用しない / 使用する予定はない



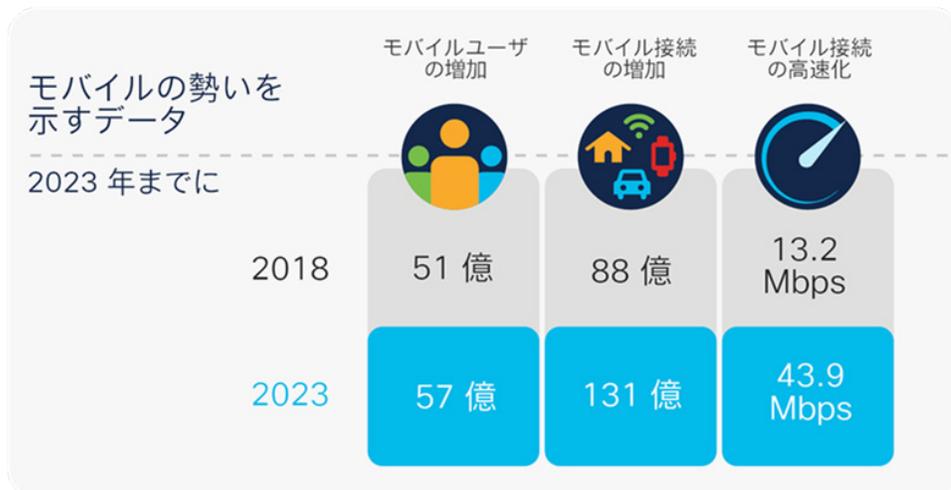
出典：米国企業のコミュニケーションに関する調査、IDC、2016年、2017年、2018年、2019年（速報値）。

従業員の可能性を拡大するワイヤレスネットワーク

従業員の力を引き出すために重要なもう 1 つのツールは、モビリティです。ビジネスユーザは、いつでもどこでも、どのデバイスでも (Wi-Fi または携帯電話ネットワーク経由で) 高パフォーマンスの接続を期待しています。さらに、ワイヤレス IoT デバイスは、多くのビジネス部門 (製造、医療、物流など) でさらに普及が進んでいます。この IoT アプリケーションの波により、ワイヤレスネットワークの要件は規模、トラフィックのパターンと量およびセキュリティの面で大きく変わります。

- ・ 2023 年までに、IoT デバイスはネットワーク接続 (約 3 分の 1 がワイヤレス接続) された全デバイスの 50% を占めるようになります。¹
- ・ 5G の速度は 2023 年までに平均的なモバイル接続の 13 倍になります。¹
- ・ 2023 年までに、世界の公共 Wi-Fi ホットスポットは 2018 年 (1 億 6,900 万カ所) の 4 倍以上の 56 億 2,800 万カ所になります。¹

携帯電話の進歩 (4G/LTE または 5G) と Wi-Fi のアップグレード (Wi-Fi 6) は、ワイヤレス接続へのとどまることのない需要が原動力となっています。大規模な IoT 接続の密度だけでなく、高度にインタラクティブなタッチアプリケーションをサポートするには、継続的なモバイルイノベーションが欠かせません。



1. Cisco Annual Internet Report, 2018-2023



推奨されるアクション

ビジネスにおいては、チームを強化し、資産とデータを保護するポリシーを備えたモバイル戦略を策定する必要があります。OpenRoaming などの新しい機能は、異なる Wi-Fi 6 ネットワークと公共の 5G ネットワーク間でシームレスに常時接続が可能なグローバルローミングを安全に提供します。

シスコは、チームの可能性を拡大するための戦略および戦術プランの構築と強化を支援します。

より詳細な情報は、[Cisco Annual Internet Report](#) にてご覧いただけます。

- ・ [シスコのデータセンター自動化ソリューション](#)を探す。
- ・ [シスコのネットワーク自動化ソリューション](#)について詳しく知る。
- ・ [シスコのユニファイド コミュニケーションとコラボレーション ソリューション](#)について詳しく知る。
- ・ [シスコのワイヤレスおよびモビリティソリューション](#)に関する情報を得る。

©2020 Cisco Systems, Inc. All rights reserved. Cisco, Cisco Systems, および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)